

分野	看護の統合と実践 －看護の統合と実践－	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	看護理論演習 Practice of Nursing Theory	単位	1
		時間	15
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	ケーススタディの発表で看護についての考えを深める。その後、看護の統合と実践実習後の統合カンファレンスでの「看護について」グループで考えた内容を発表し、全体で看護に対する考えを深める。3年間の学びの集大成として、これまで深めてきた自己の看護観をまとめる。これまでの看護の経験を通して、理論を活用し意味づけができ、自己の看護観を深める機会とする。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケーススタディに取り組み自分の看護について思考する。 2. 看護に対する考えを深める。 3. 看護の理論を活用して探求する。 4. 自己の看護観を深め自己の「看護観」をまとめる。 		
評価方法	ケーススタディ発表：指導教員評価および講評による評価 ケースレポート作成の評価 20点、発表の評価 10点 計30点 看護の統合と実践実習後の統合カンファレンス：態度評価 20点 看護理論演習：出席状況、態度、課題、レポート評価を総合して評価する 50点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学【1】 看護学概論（医学書院） やさしく学ぶ看護理論（日総研出版） 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方.第2版,照林社,2009,60.		
参考図書	系統別看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 看護研究こころえ帳 医歯薬出版 エssenシャル 看護情報学 医歯薬出版		
メッセージ	ケーススタディの発表を通して、お互いに看護についての考えを深めていきましょう。 統合実習後の統合カンファレンスでは、「看護について」グループで考えた内容をわかりやすく発表しましょう。 看護観をまとめることは、3年間の学習の集大成です。 実習・ケーススタディで深めた自己の看護観をまとめましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	ケーススタディ 発表	ケーススタディ発表で、看護についての考えを述べられる	1.担当教員からケーススタディの指導を受け、看護の意味づけをする。	発表会	
2			2.得られた学びを学校内で発表する。 3.評価を受けて自分の看護観に繋げる。		
3	統合カンファレンス	「看護について」のグループ発表で看護についての考えを述べられる	1.看護の統合と実践実習期間中に、看護の経験を通して文献を活用し看護に対する考えを深める。	統合カンファレンス	
4			2.「看護について」発表資料を作成し、グループ発表する。 3.全体討議を通し「看護について」考えを深める。		

5	看護理論の理解	さまざまな看護理論について理解する	1.さまざまな看護理論① 看護理論の種類 特徴 ①哲学：ナイチンゲール ②大理論：キング ③状況理論 ④中範囲理論	講義	
6	看護理論の理解	さまざまな看護理論について理解する	1.さまざまな看護理論② 看護理論の種類 特徴 ①働きかけの看護理論：ヘンダーソン ②人間関係理論：ペプロウー・キング ③対象論的な看護理論：ロイ・ニューマン	講義	
7	看護観GW	看護の統合と実践実習前にグループで各自の看護観を共有する	1.看護観指導① 事前に提出された看護観をもとに指導を受ける	GW 演習	
8	看護観GW	実習の体験を通して得た看護観を深める	1.看護観指導② 事前に提出された看護観をもとに指導を受ける	GW 演習	看護観指導は、看護の統合と実践実習での指導担当教員から指導を受ける。その後、看護観提出収録集を作成し、国家試験受験後、看護観発表会を行う。（発表は評価に含まれない）